

化学物質のリスクアセスメント チェックシート

作成日	年 月 日
-----	-------

塗装施工会社	現場名
--------	-----

使用塗料 (化学物質)	商品名	種別	溶媒	作業環境	屋外 ・ 屋内(換気設備あり ・ なし)
	製造所	予定取扱数量 Kg ・ L	塗装方法 刷毛 ・ ローラー ・ 吹付		溶剤系 ・ 水系 ・ その他

元請 担当者	塗装施工会社 店社責任者		作成者

レベル・ランク及びリスク低減対策 ※1			GHSラベル区分 ※2					
リスクレベル	有害性ランク	揮発性ランク						
レベル 対策	ランク 対策	ランク	区分()	区分()	区分()	区分()	区分()	区分()

※1:コントロールバンディングによって得られたリスクアセスメント実施レポートを参照に記入する。
※2:SDSを参照に区分を記入する。

作業段階ごとの対策	有害性・危険性への対策(リスク低減対策)							
	保護具の使用・着用対策 (国家検定・日本工業規格(JIS規格)適合品)	チェ ック	換気対策	チェ ック	管理対策(体制・監視・測定・資格者・教育等)	チェ ック	爆発・火災防止への対策	チェ ック
保管場所	・手袋、マスク等使用し涼しい所へ保管する。 (その他)		・涼しい所、通気の良い場所で保管する。 (その他)		・有機溶剤等・特定化学物質・鉛作業主任者の名と職務の掲示。 ・有機溶剤が人体に及ぼす作用等の掲示。 ・立ち入り制限可能な場所に保管。 ・SDSの備付(会社等) (その他)		・溶剤に適する消火器の配備。 ・塗料は密栓して保管する。 ・火気・熱源から遠ざけて保管する。 (その他)	
作業前	・手袋、保護マスク、保護メガネ等の着用状態を確認する。(使用前点検要) (その他)		・換気ができる環境か確認する(窓の開閉等)。 ・換気が十分でない室内では送風機を使用する。 (その他)		・有害性・危険性を作業者に周知徹底を図る。 ・本日使用する量のみを使用場所に持ち込む。 ・保護用マスク、保護メガネ等の着用状態を確認する。 ・塗料が直接皮膚に付着しない服装を確認する。 (その他)		・作業場所に応じて適切な保護具を着用する。 ・煙草・ライター類等の火源の持ち込み無しを確認。 ・漏電防止用の照明器具、コードリールの使用。 (その他)	
作業中	・必要保護具の劣化・破損していたら、直ちに切り換える。 ・手袋、保護マスク、保護メガネ等の着用状態を確認する。 (その他)		・換気ができる環境か確認する(窓の開閉等)。 ・換気が十分でない室内では送風機を使用する。 (その他)		・職長は現場巡視を行い作業者の作業状態を指揮・監督する。 ・気分が悪くなった作業員を、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 ・目に入った場合は、水で15分以上洗う。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。 ・皮膚(又は毛髪)に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗う。 (その他)		・着火した場合に備えて適切な消火器を準備しておく。 ・周囲での火気使用禁止の措置をする。 (その他)	
作業終了時	・作業場から屋外に出た後から保護具を外す。 ・保護具、上着等の穴あき、付着の点検をする。 (その他)		・十分換気ができているか確認する。 ・送風機は作業終了後に作業者のいないことを確認後に停止する。(使用した場合)。 (その他)		・残塗料の廃棄は、廃棄物の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理する。 ・汚染された保護衣を使用する場合には洗濯する。 (その他)		・材料の密閉状態の確認をする。 ・使用したウエスは水に浸漬し産廃として処分する。 (その他)	

※現場周知の記録

周知日	作業員氏名(自筆)(記入しきれない場合は2枚目以降へ記入)						備考
年 月 日							新規入場 ・ 配置換え ・ 仕様変更 ・ その他
年 月 日							新規入場 ・ 配置換え ・ 仕様変更 ・ その他
年 月 日							新規入場 ・ 配置換え ・ 仕様変更 ・ その他